

令和6年度 登別市立登別小学校 学校経営全体構造図

【学校教育目標】

「丈夫な体と豊かな心をもって、意欲的にたくましく生きる子」

【北海道教育の基本理念】
自立・共生

【学校全体で育成を目指す資質能力】

| | よく考える子(知) | からだをきたえる子(体) | なかよく助け合う子(徳) | がんばりぬく子(意) |
|-------------|----------------------|-----------------------|---------------------------------------|------------|
| 知識・技能の習得 | ○基礎的な知識 | ○物事の間を捉える力 | ○知識を生かす力 | |
| 思・表・判断力の育成 | ○問題を発見したり課題を認識したりする力 | ○自分の学びをデザインする力(自己調整力) | ○様々な方法で自分の思いを伝える力(コミュニケーション力・記述力・説得力) | |
| 学びに向かう力 人間性 | ○互いの良さを認め協働する力 | ○粘り強くやり抜く力 | ○多様性を認める力 | |

【胆振教育推進の重点】
『一人一人の子どもを主語にする学校づくり』
～学校内外の協働の深化を図る学校経営～

【保護者/地域の願い】
身に付けて欲しい力
○人間関係を築く力
○各教科の基礎的な力
○善悪を判断する力
○自ら学ぶとする意欲
○自分の考えを表現する力等

【児童の実態】

- 教員・保護者ともコミュニケーション能力や人間関係を育成する力の伸長を望んでおり、また、それらが苦手だと感じている児童も多々いる。
- 教員や各種テストの結果、思考力・判断力・表現力を身に付けさせることが経年の課題である。
- 児童の自己肯定感の低下が課題である
- 特定の体力要素について、課題がある。
- 教員の在職時間の課題が経年である。
- 電子メディアに対する課題が経年で続ある。

【目指す学校像】

子供 自らの未来を力強く切り拓く力を身に付けることができる学校。
保護者 子供の現在・未来を、安心・信頼してまかせることのできる学校。
教職員 ワークライフバランスを考えながら、自らの未来に向かって学び続けることのできる学校。

【令和6年度学校経営の方針】

子供たち・教職員・保護者が「あす」を豊かにすることのできる学校づくり
～地域と共に課題解決を目指す学校経営を通して～

【令和6年度学校経営のキーワード】

共生・協働・表現・継続

- 確かな学力 協働・表現
- 豊かな人間性 共生・協働
- 健康・体力 継続
- 特別支援教育 共生
- ふるさと教育 表現 継続
- 地域とともにある学校 共生 協働 表現 継続
- 安全対策・安全指導 共生
- 教職員のウェルビーイングを目指した働き方改革と人材育成

【具体的方策】 (経営活動)

教育課程

- ウ) 学力テストの分析や校内研修を通じた学力向上の実現
- オ) 子供の学びを確かなものにする教科横断的な教育課程編成
- カ) スタートカリキュラムの改善・充実
- ク) 中学校と連携した9年間を見通した学力向上策の改善・充実
- ウ) 持続可能な特色ある教育活動の設定
・特色のある教育活動を生かしたカリキュラムマネジメント

環境整備

- イ) 清潔感のある校内環境整備
・校内清掃 ・掲示物

組織運営

- ア) コアチームの活動の推進
- カ) ジェンダーフリー
・ジェンダー平等を目指した日常的な取り組み。
・全教育活動(職員室も含め) ジェンダーバイアスの見直し

ネットワーク

- エ) 家庭での学習の量・質の充実。
- ア) 地域と共にある特色ある教育活動の改善充実
・おにっこマーチングバンド(OMB)、すもう、スキー
・地域の資源を生かした生活科
- ア) 学校運営協議会や中学校と課題を共有した取組の推進
- イ) 学校からの積極的な情報発信
- オ) 望ましい生活習慣の形成
・中学校と連携した基本的な生活習慣の定着に向けた取組
・生活習慣改善のための啓発活動の強化

(教育活動)

学習指導

- ア) 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の推進
- イ) ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現
- キ) 英語・外国語教育の推進

総合的な学習の時間

- イ) 総合的な学習の時間
・地域の特色を活かした問題解決的、探究的な学習活動の展開
・相手意識をもった言語活動の展開(アウトプットの充実)

特別活動

- エ) 特別活動
・よりよい学校生活を送るために主体的に考え取り組む学級活動や児童会活動の充実

特別支援教育

- ア) 共生を目指した環境づくり
- イ) 合理的配慮のPDCAサイクルの確立
- ウ) 教室環境のUD化
- エ) 全スタッフによる組織的な関わりの強化

道徳教育

- ア) 道徳教育
・考え議論する道徳科の充実
・教育活動全体を通して行われる道徳教育の充実
- ウ) 読書活動
・校内研修と関連させた読む力をつける活動の充実
・読書習慣を定着させるための活動の徹底
・司書と連携した図書館の活用促進

人材育成

- イ) 生徒指導力・学級経営力を高める研修の推進
・生徒指導提要・コンパスの活用をした研修
・情報提供、情報活用の推進
- イ) キャリアステージに応じた研修
- ウ) 服務規律研修の充実

健康・安全指導

- ア) 運動量の確保・運動の楽しさを味わわせる体育科の授業の構築
・体育Co.と連携した体育の時間の充実と技能の向上
・資料還元を含めた研修の充実
- イ) 望ましい電子メディアの利活用に向けた取組
・保護者と協力して進めるアウトプットと情報モラル教育の推進
- ウ) 健康・体力の向上策の立案と実践
・全国体力運動能力調査の結果に基づく体力向上策の検討と推進
・主体的に健康を考える取組の強化
- エ) 保健指導の充実による健康意識の向上
・歯の健康を重視した、歯科医師との連携
- ア) 学校安全
・「自分の命は自分で守る」意識を高める安全教育の推進
・危機管理マニュアルの改善充実(洪水に関する更新)
・保護者、地域、関係機関との連携による安全対策の推進
・フェーズフリーの取組

生徒指導

- ウ) 組織的ないじめ対応の充実
・いじめを主体的に考える場の設定
・いじめや不登校事案の早期発見、早期対応や相談 方法の周知・徹底
・多様化する課題についての情報交流や指導体制の整備
・SOSの出し方についての指導充実(いじめ避難訓練)
- オ) 特別活動
・よりよい学校生活を送るために主体的に考え取り組む学級活動や児童会活動の充実
- キ) 居心地のよい集団づくりの推進
・学級経営の状況の可視化
・KPTの定着
・自己の生き方を考えさせるキャリア教育の推進

【評価】

学校評価、教職員自己評価、保護者・児童アンケート、全国学調、標準学力検査、チャレンジテスト、家庭学習調査、新体力テスト等